

企業スポット

石川 発

「穴あけ・横中ぐり加工とえば赤井鉄工」
～ 変わらないために変化し続ける ～

有限会社 赤井鉄工

当社は、昭和45年に現社長の祖父・赤井栄一氏が創業したもので、白山市湊工業団地第二内に3ヵ所の自社工場を設置し、各種産業機械部品の金属加工を主力業務としている。とりわけ、穴あけ・横中ぐり加工ではハイレベルな技術を有し、それが大きな強みとなっている。

現社長の赤井康樹氏は、社長に就任して今年で6年目で、社長就任後はプライベートで登山を趣味としている。山に登る過程、登り切った後に眺める頂上からの景色、そして澄んだ空気が好きだと語る。その赤井社長は、オペレーターの技術力が重要な要素となる当社事業において、人材採用・育成面にユニークな面をみせる。

①「クセ」のある人材を採用。

②「なりたい自分」をイメージすることは年齢を重ねるごとに難しくなるため、従業員には「なりたくない自分」像をイメージさせる。

③規則・システムを作り込み過ぎず、「遊び」を持たせることを意識しフレックスタイム制を導入。

これらが社員の主体性を引き出すことに寄与し、高い生産性に繋がっている。

唯一無二の価値を生み出す

当社は、難易度の高い加工においても、単品加工や短納期に柔軟な対応を行っている。大口の元請仕事は敢えて受けず、案件毎に最適な工程を組むことができるよう余力を持たせた運営を常に意識しているため、スポットで飛び込む特急案件などの依頼にも迅速に対応できている。

設備面では、横中ぐり盤9台を保有しているが、似たような規模の同業者の中では、全国的にもほとんど見られない保有台数である。これまで培った技術を活かし、最新機だけでなくNC化したレトロ機も再活用することで、オペレーターの能力を最大限に引き出せるよう工夫している。また、機械オペレーターとNCプログラマーを分業せず、担当者が一貫して作業を行うことでミス無くし、効率化を図っている。



4月から稼働する第3工場

目指すはテッペン

山登りで例えると、現在地は「1合目」、目指すところはもっと高いところにある、と赤井社長は語る。この4月に第3工場を新築稼働し、新たな市場に参入する構想もあるなど、受注の幅をさらに広げていく方針である。

今後はスマートファクトリー化が徐々に進むことが想定され、その点では当社を取り巻く環境は決して楽観視できない。それでも当社は、技術力のあるオペレーターの仕事はなくなると考え、世の中の流れに身を委ねながらも、本質を捉えて芯の部分は変えず、「中ぐり一筋」の姿勢を貫く方針である。「横中ぐり加工で日本一」を本気で目指し、常に新しいことに挑み続ける当社の今後に期待したい。

有限会社赤井鉄工

本社：白山市湊町丙11-18
代表：赤井 康樹
資本金：1000万円
創業：1970年(昭和45年)5月
TEL：076-278-4485
URL：https://red-works.jp/
TDB企業コード：071035089

会社概要